



Turin's Tea Time 国際交流員テウリンのティータイム

世界で使われている 英語の違い

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。紅茶を飲みながら暑い日々がやっと終わったことをお祝いする時期です。さて、今回のテーマは「英語」です。

8月に「イングリッシュ・ワールド・キャンプ」を催しました。当日はほかの町のALT（外国語指導助手）2人に手伝ってもらいながら、子どもたちと工作やゲームを楽しみました。子どもたちは気付かなかつたかもしれませんが、実はイベント中に2つの英語を聞くことができました。それは私のオーストラリア英語と手伝ってくれたALTたちのアメリカ英語です。



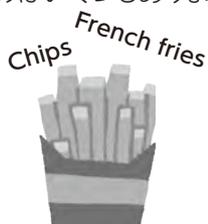
▲子ども向けの英語イベント「イングリッシュ・ワールド・キャンプ」

国によって少しずつ違う英語

英語を母国語としない人にとって、英語はいろいろな理由で難しいと思います。英語圏だけでも、特にアメリカとイギリスでは意味や綴り、発音が違うので、相手の言うことが分からなくて混乱することもあります。

オーストラリアはほとんどイギリス英語です。アメリカでキャンプをしたとき、友達に「torch」と頼むと、イギリス英語では「懐中電灯」、アメリカ英語では「たいまつ」の意味になるので、友達は混乱してしまいました。友達には「flashlight」と言う必要があったのです。

同じ言葉なのに違う意味になるものはいくつもあります。そのうちのひとつが「chips」です。イギリスでポテトフライは「chips」ですが、アメリカでは「french fries」です。アメリカの「chips」は日本と同じポテトチップスですが、イギリスのポテトチップスは「crisps」です。しかし、本当に不思議なのはオーストラリアの英語で、ポテトフライもポテトチップスも「chips」と言います。



英語はアクセントも難しい

さまざまなアクセントも、英語を母国語としない人にとって、紛らわしいときがあります。イギリス英語の母音の発音は、アメリカ英語より日本の母音の発音に近いと思います。例えば、イギリス人は「バナーナ」や「トマー

今日から使える

ひとこと英会話

Lesson 23

することがたくさんあって忙しいときに一言

"I've got a lot on my plate"

読み方 「アイ ゴッダ ロドン マイ プレート」

意味 「することがたくさんある」

「パーティーに行かない?」

「ごめん、今は仕事がたくさんあって…」

直訳すると「私の



皿の上にたくさんある」になります。お皿に載せているものが多すぎて運ぶのは大変、落ちそうというイメージです。ストレスがたまるほどしなければならぬことがあるときに、このフレーズを使ってみましょう。

ト」が発音しますが、アメリカ人は「バナーナ」や「タメート」と発音します。さらに「o」の母音ならイギリスと日本は同じですが、アメリカでは「あ」になるので、イギリス英語の「ボディー」はアメリカ英語の「バディー」になります。そして、アメリカの綴りはよく「u」を抜いているので、「colour」は「color」になります。

英語の「多様性」を知ることが大切

「英語を勉強する日本人は、アメリカ英語とアクセントだけを勉強すれば良い」「アメリカ人以外の先生は、アメリカ人のふりをしてアメリカ英語を教えるべき」という考えの先生に出会ったことがあります。理由は、ほかの英語は紛らわしいからです。しかし、私はその意見に反対です。私はアメリカ人ではないのでアメリカ英語をうまく話すことができません。「英語は1種類しかありません」と教える方が紛らわしいと思います。英語圏はアメリカだけではないので、アメリカ英語だけを学ぶのではなく、英語の多様性を知ることが大切だと思います。

英語を勉強する日本人から「どの英語が正しいのか」という質問をされることがありますが、その質問には答えがありません。どっちが「正しい」かより、さまざまな「違い」を知っておくことが必要だと思います。

※ページ内のイラストは、テウリンが描いています